

2025 年 9 月 30 日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

株式会社イデアルの株式譲渡について

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン 3 号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、本日、株式会社イデアル（本社 東京都渋谷区、代表取締役 濱 恵介、以下「イデアル」）の完全親会社である特別目的会社（ホライズン 14 株式会社）の全保有株式を、株式会社シンクロ・フード（本社 東京都渋谷区、代表取締役兼執行役員社長 藤代 真一、以下「シンクロ・フード」）へ譲渡いたしましたのでお知らせします。

イデアルは、2007 年の創業以来、ビルオーナーの保有物件を借り上げ、飲食店等を営む店舗事業者にサブリースする事業を中心に、商業用不動産に特化した幅広いサービスを展開しております。ビルオーナーへのきめ細かく誠実なサポートや、店舗事業者への鮮度の高い独自の不動産情報の提供により、ビルオーナーと店舗事業者の双方から厚い信頼を集めている企業であります。外食産業に大打撃を与えたコロナ禍においても、サブリース事業によってテナント退店の不安からビルオーナーを守り、新たな賃借人となる店舗事業者の誘致を数多く実現しました。不動産流通を通じて街の活気を維持・向上させ、コロナ禍からの都市の再生に大きく貢献した企業であり、イデアルへの投資は弊社が掲げる「意義ある投資」に合致するものであったと考えております。

弊社は、イデアルが商業用不動産領域におけるリーディングカンパニーとなることを目指し、経営陣や従業員とともに、人材育成の強化や長く安心して働ける組織づくり、新たなビジネスモデルの開発等に取り組んでまいりました。

店舗事業の支援に豊富なノウハウと実績を有するシンクロ・フードを新たなパートナーに迎え、イデアルが今後さらなる成長を実現することを祈念いたします。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 23 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,900 億円超）を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして 6 本目、創業から 10 本目のファンドを運営中。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするニューホライズンキャピタルのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン 1 号から 4 号ファンドにおいても多数の投資を実行し、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 70 社、全体では 120 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、大谷 連絡先：03-5532-8921